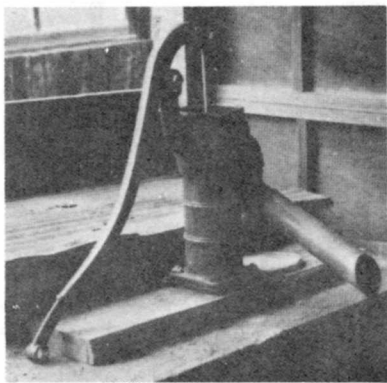


電気・水道

むかしの家の明かりは、どの家でも「あんどん」を使っていました。明治になって、「石油ランプ」が使われるようになり、大正十一年（一九二二）に電灯とうがつかまりました。

家や学校で使う水は、それぞれの家ごとになき水や川の水を使ったり、井戸いをほり、つるべで、水をくみ上げたりして使っていました。昭和の始めごろから、木や金ぞくのポンプで水くみ上げ昭和三十年ごろから、電気力で動くポンプが使われました。中島村では昭和五十一年より、今の水道が、村内にゆきわたるようになりました。



吸上げポンプ



石油ランプ